

FIS アルペンスキーワールドカップ 2016 湯沢苗場大会

菱沼組織委員長 殿

田村実行委員会会長 殿

まずもってこの度の FIS-ワールドカップ湯沢・苗場大会の成功、誠におめでとうございます。
ここに至るまで多くの課題を乗り越え、関係者皆さんの熱い、其々の想いが集まりこの湯沢苗場大会の大成功に結び付いたと思います。アルペンスキー界のポテンシャルに私自身も驚き誇りを持ってたこと、とても幸せな事でした。

また震災時に世界中の多くのアルペンスキーヤーからも励ましの言葉や機会を頂いたことに感謝の気持ちと、元気に立ち上がってきている日本のスキー界を発信出来た事とても良かったと思います。そして、スポーツの持っている多くの可能性を皆さんが表して下さったと感謝致しております。

FIS レースディレクターのマルクス・ワルドナー氏から次のようにメッセージが届いております。

アルペンワールドカップ湯沢苗場大会

大会関係者の皆さまへ

国際スキー連盟を代表し、ワールドカップ湯沢苗場大会の成功に改めてお祝いを申し上げます。

天候不順等の予想外の事態が発生した大変困難な状況下にも係わらず、伝統的なワールドカップ開催地に勝るとも劣らない素晴らしい大会開催にご尽力頂いた事、また、素晴らしい観客と共にワールドカップ大会開催に惜しみない情熱を注いで頂いた事に、心からの敬意を表すると共に深く感謝申し上げます。

日本の観客の皆さまがゼッケン1番の選手からゼッケン最後の選手の競技が終了するまで絶え間なく拍手喝采で応援をしてくださった事、観客エリアに泥酔した観客が一人もいなかった事、日本の皆さまにとっては驚くべき事ではないのかもしれませんが、私達は彼らのスポーツに対する真摯な姿勢に深い感銘を受けました。

閉会式のスピーチでも述べましたが、私達は湯沢苗場を FIS ワールドカップ開催地として定着させたいと希望しています。

6月にカンクン・メキシコで開催されるFIS総会にて湯沢苗場大会組織委員会の責任者と面会をし、湯沢苗場での次回ワールドカップ開催の可能性について更に踏み込んでお話しさせて頂きたいと考えております。

素晴らしい日本のホスピタリティに心から感謝すると共に皆さまと仕事が出来た事を大変光栄に思います。また皆さまにお会いできる日を楽しみにしております。

2016年3月13日

ワールドカップ男子チーフレースディレクター

マルクス・ワルドナー

また、国際スキー連盟のサラ・ルイス事務総長からも湯沢苗場大会に対して、「日本のスキー界の組織運営能力の高さ、機動力を大成功で幕を閉じた1998年長野オリンピックから18年経った本大会において再度見せてくれました。またガルミッシュ大会の代替レースの要望に対しても真摯に向かい検討頂き感謝しております。今後、日本のスキー界がアジアだけではなく世界のスキー界のリーダーシップをとり、幅広い分野で貢献できるよう願っています。」との口頭でのメッセージをいただきましたお伝えします。

チャンスは待つものではなく作るもの、奇跡も夢と希望で作れるもの、まさに苗場大会でした。

今後さらなる雪国県、新潟湯沢・苗場地区の益々のご発展をお祈りいたします。

おめでとうございました!!

国際スキー連盟理事

村里敏彰



FIS Alpine Ski World Cup 2016 YUZAWA-NAEBA

FIS アルペンスキーワールドカップ2016湯沢苗場大会

第9回組織委員会

湯沢町実行委員会平成27年度第2回総会

◆日時 平成28年(2016年)3月30日(水)
組織委員会 午後2時30分～
実行委員会総会 午後4時00分～

◆会場 湯沢町公民館 2階ホール

FIS アルペンスキーワールドカップ 2016 湯沢苗場大会湯沢町実行委員会
第9回組織委員会 次第

平成 28 年 3 月 30 日 (水) 14:30～
湯 沢 町 公 民 館 2 階 大ホール

1. 開会の挨拶 組織委員会 委員長 菱沼信夫

2. 議 事

(1) 平成 27 年度 FIS アルペンスキーワールドカップ 2016 湯沢苗場大会湯沢町実行委員会事業報告について

(2) 平成 27 年度 FIS アルペンスキーワールドカップ 2016 湯沢苗場大会湯沢町実行委員会会計収入支出の状況について

(3) FIS アルペンスキーワールドカップ 2016 湯沢苗場大会湯沢町実行委員会の解散について

(4) その他

3. 閉会の挨拶 組織委員会 副委員長 田村正幸

FIS アルペンスキーワールドカップ 2016 湯沢苗場大会湯沢町実行委員会
平成 27 年度 第 2 回総会 次第

平成 28 年 3 月 30 日 (水) 16:00～
湯 沢 町 公 民 館 2 階 大ホール

1. 開会の挨拶 湯沢町実行委員会会長 湯沢町長 田村正幸
2. 議 長 選 出
3. 報 告 事 項
 - 報告第 1 号 平成 27 年度 FIS アルペンスキーワールドカップ 2016 湯沢苗場大会湯沢町実行委員会事業報告について
 - 報告第 2 号 平成 27 年度 FIS アルペンスキーワールドカップ 2016 湯沢苗場大会湯沢町実行委員会会計収入支出の状況について
4. 議 事
 - 議案第 1 号 専決処分事項の承認を求めることについて
 - 議案第 2 号 FIS アルペンスキーワールドカップ 2016 湯沢苗場大会湯沢町実行委員会の解散について
5. そ の 他
6. 議 長 退 任
7. 閉会の挨拶 組織委員会 委員長 菱沼信夫

報告第 1 号

平成 27 年度 FIS アルペンスキーワールドカップ 2016 湯沢苗場大会
湯沢町実行委員会事業報告について

平成 27 年度 FIS アルペンスキーワールドカップ 2016 湯沢苗場大会湯沢苗場
大会湯沢町実行委員会の事業について、別紙のとおり報告する。

平成 28 年 3 月 30 日報告

FIS アルペンスキーワールドカップ 2016 湯沢苗場大会
湯沢町実行委員会会長 湯沢町長 田村正幸

報告第 2 号

平成 27 年度 FIS アルペンスキーワールドカップ 2016 湯沢苗場大会
湯沢町実行委員会会計収入支出の状況について

平成 27 年度 FIS アルペンスキーワールドカップ 2016 湯沢苗場大会湯沢苗場
大会湯沢町実行委員会会計の収入支出の状況について、別紙のとおり報告する。

平成 28 年 3 月 30 日報告

FIS アルペンスキーワールドカップ 2016 湯沢苗場大会
湯沢町実行委員会会長 湯沢町長 田村正幸

FISアルペンスキーワールドカップ2016湯沢苗場大会
湯沢町実行委員会会計 収入支出総括表

平成28年3月30日現在

【収入】

単位：千円（決算見込額・比較増減額・説明は円）

款	項	目	区分	当初予算	補正(1)	計	補正(2)	計	補正(3)	計	補正(4)	予算現額	決算見込額	比較増減額	説明	
1	1	1	1 負担金	63,600	70,000	133,600					△ 51,423	82,177	83,000,000	823,000	湯沢町 全日本スキー連盟 新潟県 放映権分配金	22,000,000 20,000,000 10,000,000 31,000,000
			2 助成金	66,779	12,419	79,198							79,198	79,198,000		日本スポーツ振興センター助成金増
2	1	1	1 協力金	121,300	5,122	126,422			20,000	146,422	9,100	155,522	155,582,023	60,023	企業協賛金等	
3	1	1	1 手数料	5,180	820	6,000	4,700	10,700	2,900	13,600	9,600	23,200	23,250,000	50,000	チケット収入 ブース出店手数料	
4	1	1	1 預金利子	1	0	1					1	1	1,000		預金利子	
			2 雑入	2,668	△ 1,312	1,356					1,356	3,400	4,756	4,787,307	31,307	NHK放映権料 NHK映像設備費
5	1	1	1 繰越金								276	276	276,816	816	繰越金	
計				259,528	87,049	346,577	4,700	351,277	22,900	374,177	△ 29,047	345,130	346,095,146	965,146		

【支出】

単位：千円（決算見込額・比較増減額・説明は円）

款	項	目	区分	当初予算	補正(1)	計	補正(2)	計	補正(3)	計	補正(4)	予算現額	決算見込額	比較増減額	説明			
1	1	1	1 諸謝金	0	1,080	1,080					△ 1,080	0						
			2 旅費	408	773	1,181						1,040	2,221	2,204,210	16,790	委員費用弁償 職員旅費	1,294,920 909,290	
			5 借損料	72	△ 33	39							39	23,140	15,860	有料道路通行料		
			6 消耗品	0	200	200							200	180,648	19,352	消耗品		
			9 印刷製本費	0	20	20							580	600	593,102	6,898	印刷製本費	
			12 賃金	471	0	471							△ 471	0				
			14 雑役務費	2,500	151	2,651							1,300	3,951	3,838,341	112,659	振込手数料	
			17 交際費	100	0	100							△ 100	0				
計				3,551	2,191	5,742					1,269	7,011	6,839,441	171,559				

単位：千円（決算見込額・比較増減額・説明は円）

款	項	目	区分	当初予算	補正(1)	計	補正(2)	計	補正(3)	計	補正(4)	予算現額	決算見込額	比較増減額	説明		
2	大会費	1 大会総務費	1 諸謝金	72	△ 62	10					290	300	280,000	20,000	報酬		
			2 旅費	4,800	△ 4,800	0					0		0				
			3 渡航費	0	5,906	5,906					5,906	△ 4,700	1,206	1,150,190	55,810	視察等	
			5 借損料	2,241	△ 2,241	0					0	620	620	609,501	10,499	らくらくチケットロッヂ借上げ 有料道路通行料	480,000 129,501
			6 消耗品	2,767	△ 1,916	851					851	△ 350	501	461,951	39,049	消耗品費	
			10 通信運搬費	0		0					0	70	70	63,066	6,934	電話料等	
			11 委託費	389	△ 389	0					0						
			13 会議費・食事	1,080	△ 1,080	0					0	40	40	39,834	166	インスペクション時昼食	
			14 雑役務費	2,544	△ 1,879	665					10,400	11,065	1,600	12,665	12,628,798	36,202	プレスカンファレンス 広報関連 FISカレンダー会議出席等 FISインスペクター現地視察 ウェルカムパーティー 観客輸送バス
計			13,893	△ 6,461	7,432			10,400	17,832	△ 2,430	15,402	15,233,340	168,660				
2	大会費	1 大会総務費	2 総合プロデュース費	14 雑役務費	0	137,299	137,299	4,700	141,999	7,600	149,599	149,599	149,537,359	61,641	総合プロデュース委託		
				計	0	137,299	137,299	4,700	141,999	7,600	149,599		149,599	149,537,359	61,641		

単位：千円（決算見込額・比較増減額・説明は円）

款	項	目	区分	当初予算	補正(1)	計	補正(2)	計	補正(3)	計	補正(4)	予算現額	決算見込額	比較増減額	説明			
2	大会費	1 A 競技運営費	1 諸謝金	3,240	5,278	8,518					8,518	△ 3,170	5,348	5,343,000	5,000	競技役員		
			2 旅費			0					0	1,900	1,900	1,879,460	20,540	競技役員		
			5 借損料	17,719	21,101	38,820						26,800	65,620	65,518,290	101,710	コース借上げ 圧雪車アタッチメント 雪上車コンパクト 競技審判用ビデオ 電波利用料他	62,964,060 1,198,800 831,600 449,280 74,550	
			6 消耗品	216	5,040	5,256						△ 4,200	1,056	1,023,191	32,809	消耗品		
			7 スポーツ用具費	21,582	5,418	27,000					△ 27,000	0		0				
			10 通信運搬費									0	10	10	9,180	820	運搬料	
			14 雑役務費	14,509	19,849	34,358					31,900	66,258	△ 28,200	38,058	37,948,080	109,920	競技用備品調達 NHK放映設備費 ゴールエリア周辺設備等設置 ビデオ判定オペレーター 選手インタビュー撮影 外国郵送納税手数料等	31,860,000 3,704,400 1,393,200 135,000 853,200 2,280
			計			57,266	56,686	113,952			4,900	118,852	△ 6,860	111,992	111,721,201	270,799		

単位：千円（決算見込額・比較増減額・説明は円）

款	項	目	区分	当初予算	補正(1)	計	補正(2)	計	補正(3)	計	補正(4)	予算現額	決算見込額	比較増減額	説明		
2 大会費	2 競技運営費	B C 管理本部総務費	1 諸謝金	130	△ 130	0						0					
			2 旅費	20,265	△ 18,969	1,296					△ 1,296	0					
			5 借損料	1,384	19,563	20,947						△ 9,400	11,547	11,501,754	45,246	11,427,450	宿泊施設借上 国旗 74,304
			6 消耗品	157	59	216					240	456	449,618	6,382	352,418	消耗品 副賞 セレモニー用花束 32,400	
			8 備品	130	△ 130	0						0					備品減
			13 会議費・食費	4,375	△ 4,375	0						0					
			14 雑役務費	3,549	260	3,809					△ 1,100	2,709	2,687,786	21,214	1,546,000	競技役員昼食 警戒監視・交通誘導 賞金送金手数料 482,986	
			16 その他	28,000	5,916	33,916					△ 5,000	28,916	28,907,971	8,029	27,305,891	入賞賞金 大会保険料 1,602,080	
計			57,990	2,194	60,184			60,184	△ 16,556	43,628	43,547,129	80,871					
2 大会費	2 競技運営費	3 D ブツキングサービス費	2 旅費	17,155	△ 17,155	0						0					
			3 渡航費	22,500	△ 900	21,600			21,600	△ 4,200	17,400	17,376,371	23,629		指定選手渡航費		
			5 借損料	3,241	△ 3,241	0						0					
			10 通信運搬費	454	△ 454	0						0					
			13 会議費・食費	7,938	△ 7,938	0						0					
計			62,942	△ 40,974	21,968			21,968	△ 4,470	17,498	17,470,519	27,481					
2 大会費	2 競技運営費	イ ホームマーケティングサービス費	5 借損料	1,296	△ 1,296	0						0					
			14 雑役務費	486	△ 486	0						0					
計			1,782	△ 1,782	0												

単位：千円（決算見込額・比較増減額・説明は円）

款	項	目	区分	当初予算	補正(1)	計	補正(2)	計	補正(3)	計	補正(4)	予算現額	決算見込額	比較増減額	説明
2 大会費	2 競技運営費	5 Fメディアサーバ	1 諸謝金	156	△ 156	0						0			
			5 借損料	2,274	△ 2,274	0						0			
			9 印刷製本費	1,475	△ 1,475	0						0			
			10 通信運搬費	401	△ 401	0						0			
			14 雑役務費	5,743	△ 5,743	0						0			
計				10,049	△ 10,049	0					0				
2 大会費	2 競技運営費	6 コンベンションサービス費	5 借損料	196	△ 196	0						0			
			9 印刷製本費	4,433	△ 4,433	0					0				
			14 雑役務費	4,920	△ 4,920	0					0				
計				9,549	△ 9,549	0					0				
2 大会費	2 競技運営費	7 Hイベントサービス費	1 諸謝金	821	△ 821	0						0			
			2 旅費	174	△ 174	0					0				
			5 借損料	15,823	△ 15,823	0					0				
			7 スポーツ用具費	6,480	△ 6,480	0					0				
			10 通信運搬費	864	△ 864	0					0				
			13 会議費・食費	65	△ 65	0					0				
			14 雑役務費	11,464	△ 11,464	0					0				
計				35,691	△ 35,691	0					0				
3 予備費	1 予備費	1 予備費	予備費	6,815	△ 6,815	0						0			
			計				6,815	△ 6,815	0						

単位：千円（決算見込額・比較増減額・説明は円）

合計				259,528	87,049	346,577	4,700	351,277	22,900	374,177	△ 29,047	345,130	344,348,989	781,011	
----	--	--	--	---------	--------	---------	-------	---------	--------	---------	----------	---------	-------------	---------	--

議案第1号

専決処分事項の承認を求めることについて

平成27年度 FIS アルペンスキーワールドカップ 2016 湯沢苗場大会湯沢町実行委員会会計予算について、会則第15条の規定に基づき、別紙のとおり専決処分したので、同条第2の規定により総会の承認を求める。

平成28年3月30日提出

FIS アルペンスキーワールドカップ 2016 湯沢苗場大会
湯沢町実行委員会 会長 湯沢町長 田村正幸

専決第1号

専 決 処 分 書

平成27年度FISアルペンスキーワールドカップ2016湯沢苗場大会湯沢町実行委員会会計補正予算（第1号）を別紙のとおり専決処分する。

平成27年9月25日 専決

FIS アルペンスキーワールドカップ 2016 湯沢苗場大会
湯沢町実行委員会会長 湯沢町長 田村正幸

理 由

収入支出予算の総額に収入支出それぞれ87,049千円を追加し、収入支出予算の総額を収入支出それぞれ346,577千円とする補正予算の必要が生じたが、特に緊急を要し、総会を招集する時間的余裕がないことが明らかであるため、湯沢町実行委員会会則第15条の規定により専決処分する。

第1表 収入支出予算補正(第1号)

収入

(単位 千円)

款	項	補正前の額	補正額	計
1 負担金・助成金		130,379	82,419	212,798
	1 負担金・助成金	130,379	82,419	212,798
2 協力金		121,300	5,122	126,422
	1 協力金	121,300	5,122	126,422
3 手数料		5,180	820	6,000
	1 手数料	5,180	820	6,000
4 諸収入		2,669	△ 1,312	1,357
	1 雑入	2,669	△ 1,312	1,357
補正されなかった款項に係る額				
収入合計		259,528	87,049	346,577

支出

(単位 千円)

款	項	補正前の額	補正額	計
1 事務局費		3,551	2,191	5,742
	1 事務局総務費	3,551	2,191	5,742
2 大会費		249,162	91,673	340,835
	1 大会総務費	13,893	130,838	144,731
	2 競技運営費	235,269	△ 39,165	196,104
3 予備費		6,815	△ 6,815	0
	1 予備費	6,815	△ 6,815	0
補正されなかった款項に係る額				
支出合計		259,528	87,049	346,577

専決第2号

専 決 処 分 書

平成27年度FISアルペンスキーワールドカップ2016湯沢苗場大会湯沢町実行委員会会計補正予算（第2号）を別紙のとおり専決処分する。

平成27年10月26日 専決

FIS アルペンスキーワールドカップ 2016 湯沢苗場大会
湯沢町実行委員会会長 湯沢町長 田村正幸

理 由

収入支出予算の総額に収入支出それぞれ4,700千円を追加し、収入支出予算の総額を収入支出それぞれ351,277千円とする補正予算の必要が生じたが、特に緊急を要し、総会を招集する時間的余裕がないことが明らかであるため、湯沢町実行委員会会則第15条の規定により専決処分する。

第1表 収入支出予算補正(第2号)

収入

(単位 千円)

款	項	補正前の額	補正額	計
3 手数料		6,000	4,700	10,700
	1 手数料	6,000	4,700	10,700
補正されなかった款項に係る額		340,577		340,577
収入合計		346,577	4,700	351,277

支出

(単位 千円)

款	項	補正前の額	補正額	計
2 大会費		340,835	4,700	345,535
	1 大会総務費	144,731	4,700	149,431
補正されなかった款項に係る額		5,742		5,742
支出合計		346,577	4,700	351,277

専決第3号

専 決 処 分 書

平成27年度FISアルペンスキーワールドカップ2016湯沢苗場大会湯沢町実行委員会会計補正予算（第3号）を別紙のとおり専決処分する。

平成28年1月15日 専決

FIS アルペンスキーワールドカップ 2016 湯沢苗場大会
湯沢町実行委員会会長 湯沢町長 田村正幸

理 由

収入支出予算の総額に収入支出それぞれ22,900千円を追加し、収入支出予算の総額を収入支出それぞれ374,177千円とする補正予算の必要が生じたが、特に緊急を要し、総会を招集する時間的余裕がないことが明らかであるため、湯沢町実行委員会会則第15条の規定により専決処分する。

第1表 収入支出予算補正(第3号)

収 入

(単位 千円)

款	項	補正前の額	補正額	計
2 協力金		126,422	20,000	146,422
	1 協力金	126,422	20,000	146,422
3 手数料		10,700	2,900	13,600
	1 手数料	10,700	2,900	13,600
補正されなかった款項に係る額		214,155		214,155
収 入 合 計		351,277	22,900	374,177

支 出

(単位 千円)

款	項	補正前の額	補正額	計
2 大会費		345,535	22,900	368,435
	1 大会総務費	149,431	18,000	167,431
	2 競技運営費	196,104	4,900	201,004
補正されなかった款項に係る額		5,742		5,742
支 出 合 計		351,277	22,900	374,177

専決第4号

専 決 処 分 書

平成27年度 FIS アルペンスキーワールドカップ2016湯沢苗場大会湯沢町実行委員会会計補正予算（第4号）を別紙のとおり専決処分する。

平成28年3月25日 専決

FIS アルペンスキーワールドカップ2016湯沢苗場大会
湯沢町実行委員会会長 湯沢町長 田村正幸

理 由

収入支出予算の総額から収入支出それぞれ29,047千円を減額し、収入支出予算の総額を収入支出それぞれ345,130千円とする補正予算の必要が生じたが、特に緊急を要し、総会を招集する時間的余裕がないことが明らかであるため、湯沢町実行委員会会則第15条の規定により専決処分する。

第1表 収入支出予算補正(第4号)

収 入

(単位 千円)

款	項	補正前の額	補正額	計
1 負担金・助成金		212,798	△ 51,423	161,375
	1 負担金・助成金	212,798	△ 51,423	161,375
2 協力金		146,422	9,100	155,522
	1 協力金	146,422	9,100	155,522
3 手数料		13,600	9,600	23,200
	1 手数料	13,600	9,600	23,200
4 諸収入		1,357	3,400	4,757
	1 雑入	1,357	3,400	4,757
5 繰越金			276	276
	1 繰越金		276	276
補正されなかった款項に係る額				
収 入 合 計		374,177	△ 29,047	345,130

支 出

(単位 千円)

款	項	補正前の額	補正額	計
1 事務局費		5,742	1,269	7,011
	1 事務局総務費	5,742	1,269	7,011
2 大会費		368,435	△ 30,316	338,119
	1 大会総務費	167,431	△ 2,430	165,001
	2 競技運営費	201,004	△ 27,886	173,118
補正されなかった款項に係る額				
支 出 合 計		374,177	△ 29,047	345,130

アウディFISアルペンスキーワールドカップ2016湯沢苗場大会経過報告

平成26年

- 1月27日 湯沢町に全日本スキー連盟（SAJ）から開催地として立候補要請
- 2月19日 町、地元と競技会場となる苗場スキー場とで協力体制について協議
- 3月5日 町議会と意見交換会（SAJ理事同席）
- 3月18日 新潟県県民生活・環境部長に情報提供と協力依頼
- 4月8日 SAJ理事と協議（事務局体制と全日本選手権について）
- 4月24日 (株)プリンスホテルへ町長・SAJで協力要請
- 5月2日 組織委員会設立準備委員会開催（SAJ・県スキー連盟・苗場スキー場・町） 組織委員の人選
- 6月2日 会場地として立候補を宣言、事務室（事務局長）設置
- 6月16日 自衛隊に大会支援要請
- 6月20日 組織委員会設立（実質的な決定、資金集め開始）
- 6月23日 新潟県県民スポーツ課に詳細説明
- 6月27日 県知事支援要請
- 7月15日 SAJ理事会でワールドカップ2016大会正式決定、懸垂幕設置
- 7月30日 日本スポーツ振興センター（toto）に補助金確認
- 8月11日 実行委員会設立総会
- 12月18日 第2回組織委員会

平成27年

- 1月13日 日本スポーツ振興センター（toto）に助成金申請
- 3月17日 第3回組織委員会
- 3月17日～20日 第93回全日本スキー選手権大会を開催（プレ大会） 男女大回転・回転
- 4月1日 湯沢町教育委員会内にワールドカップ推進室設置
- 4月20日 大会申請書提出（実行委員会⇒県連⇒SAJ⇒FIS）
- 4月24日 日本スポーツ振興センター（toto）に助成金交付決定
- 4月29日 SAJと開催経費について打ち合わせ
- 4月30日 湯沢町議会議員全員協議会にて現状説明
- 5月18日 第4回組織委員会
- 5月27日 実行委員会総会
- 5月28日 NHK現地視察
- 6月1日～8日 FISカレンダー会議 ブルガリア バルナ
- 7月13日 日本スポーツ振興センター（toto）に助成金交付式
- 7月17日～18日 FISインスペクション
安全対策、降雪機の増設、コース作り等について多くの条件が出される。
- 8月3日 競技関係者予算会議
FISインスペクションの条件を加え予算の再検討
⇒ 当初競技関係予算150,000千円から60,000千円増額となる。
- 8月7日 第5回組織委員会
大会予算増額について説明 ⇒ 見直しを依頼される。
- 8月13日・14日・25日・26日 競技以外の予算について見直し作業
- 8月14日 NHK打ち合わせ
- 8月18日 SAJ古川氏と打ち合わせ
- 8月19日 SAJ岡山氏、古川氏と打ち合わせ

- 8月24日 湯沢町議会総務文教常任委員会にてW杯の現状説明
- 8月27日 競技予算見直し会議
※結果的に減額にはつながらず。 87,000千円資金不足
- 8月30日 志賀高原担当者の意見聴取
- 9月2日 組織委員会(SAJ)関係者と不足金の補てん方法について協議
- 9月4日 組織委員会副委員長以上会議
第6回組織員会
大会予算見直し結果について説明。結果として87,000千円資金不足
組織委員長と相談し、SAJ20,000千円、町補正50,000千円
- 9月7日 SAJから20,000千円の確約書受領
- 9月11日 湯沢町議会議員全員協議会にてW杯予算の現状を説明
- 9月14日 SAJ会長及び専務理事と打ち合わせ
※町からは、これ以上出せない旨お伝えし、万が一大会経費が予算を上回った場合SAJが負担するよう依頼。
- 9月15日 競技用備品調達業務業者決定 ⇒ 木原モード(株)
SAJから大会経費346,577,803円を超過した場合の確約書受領
- 9月17日 新聞折込にて町民に対し現状についてお知らせ
- 9月24日 湯沢町議会にて補正予算審議 ⇒ 可決
第7回組織員会
大会予算について審議 ⇒ 承認
- 9月29日～10月6日 FIS秋会議 スイス チューリッヒ
FIS・SAJ・組織委員会の3者契約書提出
W杯湯沢苗場大会契約書締結(アグリーメント)
視察合意書の内容について最終確認
国際映像、メディアサービス等担当者と打ち合わせ
湯沢苗場大会選手等受け入れについて説明
- 10月22日 W杯総合プロデュース業者決定 ⇒ (株)電通
- 10月23日 第1回全体会議の開催 ⇒ 実行担当者の決定
- 11月4日 湯沢町議会議員全員協議会にて現状を説明
- 11月5日 新組織委員長 菱沼氏来庁
- 11月12日 第2回全体会議の開催
- 11月25日 第3回全体会議の開催
- 11月30日 第8回組織委員会及び湯沢町実行員会常任委員会の開催
- 12月1日 プレスカンファレンス&ありがとう湯沢・感謝の集いの開催
- 12月2日 NHK現地視察
- 12月3日 第4回全体会議の開催
- 12月4日 苗場スキー場全体説明会の開催
- 12月5日 観戦チケット販売開始(ローソンチケット)
- 12月7日 SAJ競技運営組織体制打ち合わせ
- 12月7日～15日
主要役員研修会の開催 フランス バルディゼール
- 12月11日 新潟県警察警備打ち合わせ
- 12月14日 国土交通省長岡国道事務所交通輸送打ち合わせ
- 12月15日 SAJ競技運営組織体制打ち合わせ
- 12月22日 第1回競技運営部会の開催
- 12月24日 第5回全体会議の開催

平成28年

- 1月 5日 第2回競技運営部会の開催
- 1月 6日 第6回全体会議の開催
- 1月14日 第7回全体会議の開催
- 1月12日 NHK現地視察
- 1月13日 高田自衛隊支援隊現地視察
- 1月18日 第1回交通輸送対策会議の開催
第3回競技運営部会の開催
- 1月20日 第8回全体会議の開催
- 1月21日 大会コース整備開始（大会終了まで）
- 1月24日・25日
高田自衛隊支援隊大会コース整備支援
- 1月25日 湯沢町議会議員全員協議会にて準備状況説明
ウェルカムパーティー・ビブドローイベント打ち合わせ
第4回競技運営部会の開催
- 2月 1日 第2回交通輸送対策会議の開催
- 2月 2日 運営マニュアル、イベント演出打ち合わせ
- 2月 3日 第5回競技運営部会の開催
- 2月 4日 役場職員W杯業務説明会
- 2月 5日 ボランティアW杯業務説明会（東京電力・マンションボラ）
新潟県警察警備打ち合わせ
苗場プリンスホテル内大会事務局開設
- 2月 5日～2月11日 コース仕上げ作業・大会会場仮設物設置
- 2月 9日 自衛隊第12旅団長・第2普通科連隊長支援状況視察
- 2月11日
17:00 第1回チームキャプテンミーティング
18:00 ウェルカムパーティー
- 2月12日
8:00 大回転公式トレーニング開始
8:30 チームドクターズミーティング
9:00 回転公式トレーニング開始
16:00 組織委員会プレスカンファレンス
17:00 第2回チームキャプテンミーティング
17:45 ビブドローイベント
- 2月13日
10:00 大回転1本目競技開始
13:00 大回転2本目競技開始
14:00 表彰式
17:00 第3回チームキャプテンミーティング
17:45 ビブドローイベント
- 2月14日
10:00 回転1本目競技開始
13:00 回転2本目競技開始
14:00 表彰式
- 3月30日 第9回組織委員会
実行委員会第2回総会

FISアルペンスキーワールドカップ2016湯沢苗場大会
第93回全日本スキー選手権大会(アルペン技術系)湯沢町実行委員会名簿

役職	氏名	所 属	備 考
顧問	齋藤 隆景	新潟県議会議員	
	松原 良道	新潟県議会議員	
	高岡 久	陸上自衛隊第5施設群長兼高田駐屯地司令	
	大崎 達也	陸上自衛隊高田駐屯地第2普通科連隊長	
	丸山 由明	新潟県県民生活・環境部長	
	高井 盛雄	新潟県教育委員会教育長	
	勝又 榮一	南魚沼市消防本部消防長	
参 与	南雲 正	湯沢町議会議員	
	師田 保	湯沢町議会副議長	
	佐藤 守正	湯沢町議会議員	
	田村 計久	湯沢町議会議員	
	宮田 眞理子	湯沢町議会議員	
	関 忠 夫	湯沢町議会議員	
	白井 孝雄	湯沢町議会議員	
	角谷 勉	湯沢町議会議員	
	岸野 雅人	湯沢町議会議員	
	高橋 五輪夫	湯沢町議会議員	
	高橋 政喜	湯沢町議会議員	
	並木 利彦	湯沢町議会議員	
	渡部 麻里子	新潟日報六日町支局長	
	板鼻 幸雄	毎日新聞南魚沼通信部	
	江川 慎太郎	朝日新聞社六日町支局長	
	藤本 宏	読売新聞社長岡支局	
	慶田 久幸	産業経済新聞社新潟支局長	
	大久保 潤	日本経済新聞社新潟支局長	
	鈴木 誠治	スポーツニッポン新聞社新潟支局長	
	斎藤 大	時事通信社新潟支局長	
	石井 利喜	NHK新潟放送局長岡報道室	
五十嵐 幹史	BSN新潟放送長岡支社長		
玉木 正晴	NST新潟総合テレビ長岡支社		
上村 哲男	TeNYテレビ新潟放送網長岡支社長		
西山 貴宏	新潟テレビ21長岡支社長		
山本 安幸	FMゆきぐに放送局長		
会 長	田村 正幸	湯沢町長	
副会長	古川 年正	(公財)全日本スキー連盟専務理事	常任委員
	岩谷 高峰	(公財)全日本スキー連盟アルペン部長	常任委員
	尾身 孝昭	(公財)新潟県スキー連盟会長	常任委員
	佐藤 譲	湯沢町スキー連盟会長	常任委員
	皆川 賢太郎	元オリンピック選手・湯沢町観光大使	常任委員
	宮坂 肇	(株)プリンスホテル執行役員苗場総支配人	常任委員
	半澤 誠治	湯沢町副町長	常任委員
	清水 道夫	湯沢町教育委員会教育長	常任委員長
委 員	柳 一成	(公財)新潟県スキー連盟アルペン部長	常任委員
	白井 孝雄	(公財)新潟県スキー連盟中越協議会長	
	中嶋 格	湯沢町体育協会会長	
	小林 康昌	新潟県南魚沼地域振興局長	
	岡部 正憲	新潟県南魚沼警察署長	
	安川 敬一郎	南魚沼郡市医師会長	
	井上 陽介	湯沢町保健医療センター管理者	常任委員
	若井 高志	南魚沼市消防本部湯沢消防署長	常任委員
	関根 伸幸	国土交通省長岡国道事務所湯沢維持出張所長	常任委員
	遠山 浩一	東日本旅客鉄道(株)越後湯沢駅長	常任委員
阿部 誠	東日本高速道路(株)湯沢管理事務所長	常任委員	

役職	氏名	所 属		備 考
委員	丸山高明	南越後観光バス(株)代表取締役		
	森下進	湯沢町タクシー協会会長		
	林敏幸	湯沢町商工会長	常任委員	
	小林庄一	湯沢町観光協会会長	常任委員	
	富井松一	湯沢温泉観光協会会長	常任委員	
	井口智裕	湯沢温泉旅館組合長		
	井口智裕	(一社)雪国観光圏代表理事	常任委員	
	高野政道	岩原観光協会会長		
	小沢貞春	苗場かぐら観光協議会会長	常任委員	
	金澤龍太	苗場観光協会会長	常任委員	
	師田富士男	浅貝町内会会長	常任委員	
	池田肇	二居町内会会長		
	山柴雄次	三俣地区代表町内会長		
	阿部道雄	神立地区代表町内会長		
	林真琴	湯沢地区代表町内会長		
	種村徹	(株)プリンスホテル苗場スキー場支配人		
	剣持義勝	湯沢町スキー場振興協議会会長	常任委員	
	林俊一	湯沢町建設業安全協議会会長		
	木村和哲	NPO法人ユースポ！代表理事	常任委員	
	飯塚由加	湯沢町スポーツ推進委員会会長	常任委員	
	田村豊	湯沢中学校長		
	種村公夫	湯沢小学校長		
	池田博子	湯沢町教育委員会教育委員長		
	腰越則夫	湯沢町議会事務局長		
	高橋功	湯沢町総務部長		
	南雲剛	湯沢町産業観光部長		
高野剛	湯沢町地域整備部長			
森下政史	湯沢町健康福祉部長			
高橋弘介	湯沢町子育て教育部長			
監事	田村雅和	湯沢町税務町民部長(会計管理者)		
	井之川将男	学識経験者		

議案第 2 号

FIS アルペンスキーワールドカップ 2016 湯沢苗場大会
湯沢町実行委員会の解散について

FIS アルペンスキーワールドカップ 2016 湯沢苗場大会が成功裡に終了したことにより、FIS アルペンスキーワールドカップ 2016 湯沢苗場大会会則第 2 2 条の規定に基づき、FIS アルペンスキーワールドカップ湯沢町実行委員会会計が清算された時点をもって FIS アルペンスキーワールドカップ湯沢町実行委員会を解散し、FIS アルペンスキーワールドカップ湯沢町実行委員会会則を廃止する。

FIS アルペンスキーワールドカップ湯沢町実行委員会が現に有する財産は、湯沢町に帰属するものとする。

平成 2 8 年 3 月 3 0 日提出

FIS アルペンスキーワールドカップ 2016 湯沢苗場大会
湯沢町実行委員会 会長 湯沢町長 田村正幸